

茗溪社会教育研究

第13号

〈巻頭言〉		
上田 孝典	1
〈研究論文〉		
土井 進	唐澤富太郎が究明した親鸞・道元・日蓮の「人間観・教育観」の考察 —大脳生理学の「人間性」についての知見を援用して—	3
池谷 美衣子・丹間 康仁	16
	パンデミック下における地区公民館の対応と課題 —神奈川県平塚市を対象にした全館調査より—	
橋田 慈子・正木 僚・金田 葵・島袋 恵・川邊 笑・南澤 諒真	35
	「障害」をめぐる社会教育実践を通じた人々の相互変容 —国立市公民館における聞き取り調査を手がかりに—	
〈研究室活動報告〉		
自治会に関する調査研究	61
東日本大震災を巡る地域社会の学びの形成	65
	—宮城県仙台市教育コーディネーターへの聞き取り調査を手がかりに—	
〈茗溪社会教育研究会〉		
伊藤俊夫先生を偲ぶ会	75
〈卒業論文概要〉		
金田 葵	子育てにおける母親と父親の性別役割分業に関する研究 —ジェンダー観の変化を促す学習に着目して—	85
木山 律子	地方大学における自治体との連携に関する考察 —地域住民への学習機会の提供に着目して—	87
島袋 恵	地域のプラットフォームとしての公民館 —若狭公民館におけるパーラー公民館事業に着目して—	89
曾根 大志	高校魅力化プロジェクトにおけるコーディネーターの役割と課題 —岩手県S町の取り組みを事例に—	92
〈修士論文概要〉		
稲葉 大輝	「外国人学校」が多文化共生に果たす意義と役割に関する研究 —学校の活動を支えるアクターに着目して—	94
張 欣	地域住民組織によるまちづくりの活動と学びに関する研究 —つくば市の自治会を事例に—	100
〈彙報〉	105
〈『茗溪社会教育研究』投稿規程〉	107
〈編集後記〉	108

令和4年6月

筑波大学 生涯学習・社会教育学研究室

編集後記

この度、『茗溪社会教育研究』第13号を刊行することができました。本号では、東海大学の池谷美衣子先生と千葉大学の丹間康仁先生、淑徳大学客員教授の土井進先生に研究論文をご寄稿いただきました。また、筑波大学の「地域と教育研究会」のメンバーからは、橋田慈子、正木僚、金田葵、島袋恵、川邊笑、南澤諒真の6名が論文を投稿させていただきました。このほか、つくば市や宮城県での実地調査報告など、研究室活動報告の内容も充実しております。

また、茗溪社会教育研究会で長きにわたってご指導・ご鞭撻くださっていた伊藤俊夫先生が昨年お亡くなりになられたことを受けて、同研究会の新春の集いは、「伊藤俊夫先生を偲ぶ会」を開催いたしました。開催に際しては、東京福祉大学教授の手打明敏先生と元福生市長の野澤久人先生から、伊藤先生のご足跡に関する資料を提供していただきました。また、「地域と教育研究会」のメンバーからは、伊藤先生の実践と研究の蓄積をたどる発表をしていただきました。当日は、伊藤先生のお人柄や先生との思い出が偲ばれる会となりました。伊藤先生のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

本号の作成にあたってご協力くださいました多くの方々に感謝申し上げ、ここに、編集後記といたします。引き続き、皆さまのご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

(文責 橋田 慈子)

編集委員

上田 孝典 (筑波大学 人間系)

橋田 慈子 (筑波大学 人間系 特任研究員)

正木 僚 (筑波大学 人間総合科学研究群 教育学学位プログラム 2年次)

令和4年 6月 30日